



1月1日より、新しい医師が着任しました。



総合内科 医員
堀田 裕平

(ほった ゆうへい)

出身大学
岐阜大学(2015年 卒業)

専門分野

▶ 糖尿病・内分泌内科

資格

・日本内科学会:認定内科医

所属学会

・日本内科学会
・日本内分泌学会
・日本糖尿病学会



呼吸器内科 医員
田口 真由香

(たぐち まゆか)

出身大学
岐阜大学(2016年 卒業)

専門分野

▶ 呼吸器疾患一般

資格

・日本内科学会:内科専門医

所属学会

・日本内科学会
・日本呼吸器学会
・日本呼吸器内視鏡学会
・日本肺癌学会



病理診断科 医員
長谷川 昌義

(はせがわ まさよし)

出身大学
岐阜大学(2018年 卒業)

専門分野

▶ 人体病理

所属学会

・日本病理学会
・日本臨床細胞学会
・日本人間ドック学会

次のページは、「ハイパーサーミア導入」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施設について



発熱症状で
受診される方へ

来院前
にご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時45分～19時00分
場所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連絡先	058-388-0111 (内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

当院の松波英一名誉院長が笠松町名誉町民に選ばれました。

昨年の12月7日(火)に開催された「第4回笠松町議会定例会」において当院の松波英一名誉院長が笠松町名誉町民に選ばれました。今回の選定により名誉町民は4名となりました。

名誉町民は町民の生活向上に貢献した者に贈られ、松波英一名誉院長は県の救急医療や高度先進医療の推進に多大な貢献をしたことが評価され選ばれました。今後も職員一同、地域の皆さまに安全で質の高い医療・福祉をご提供できるよう貢献してまいります。



入院患者向け集団リハビリを実施しました。

昨年の12月24日(金)、松波総合病院南館8階にて病棟の集団リハビリを実施しました。当日はクリスマス拡大版として、劇や合唱などのレクリエーションを行いました。



第4回羽島先端医学を学ぶ会 医療職の方ならどなたでも参加できます。下のQRコードより、申込書をダウンロードのうえ、お申し込みください。

テーマ	特発性大腿骨頭壊死症の治療最前線 ～再生医療から人工股関節置換術まで～	場所	社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 南館1階 MGHホール
日時	2022年2月3日(木) 19時00分～20時00分	講師	岐阜大学大学院医学系研究科整形外科学 教授 秋山 治彦 先生



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL 058-388-0111 (代)
FAX 058-388-4711
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



がんの温熱治療、ハイパーサーミア治療システムのご紹介

ハイパーサーミアによるがんの温熱治療

ハイパーサーミアでは、高周波電流(ラジオ波)で患部を加温し、がん組織のみを壊死・縮小させることで治療します。

2022年1月より、高周波式ハイパーサーミアシステムを導入しました。
今回導入した機器(アスクーフ8)については、
岐阜県内の病院では初導入、東海三県では2番目の導入となります。



特徴
1

治療可能な疾患が多い

治療の適応範囲が広く、脳・眼球以外の部位で可能です。
浅部から深部まで病巣の深さに適応した治療を行うことができます。

特徴
2

身体に優しい治療

ほとんどの場合、副作用はありません。
軽微な副作用として熱傷、脱水症などが挙げられます。
(体格や年齢により個人差もあります)

特徴
3

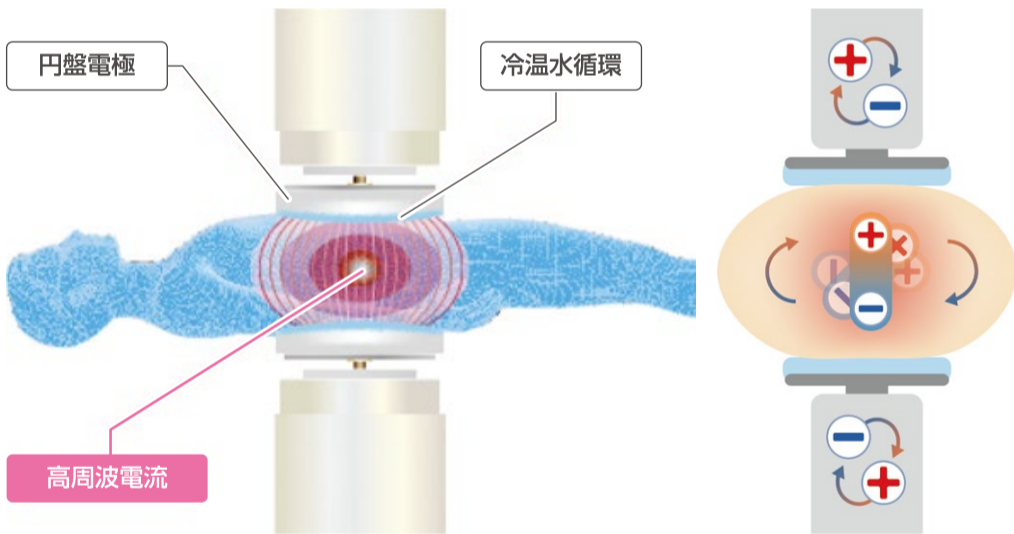
他治療と併用できる

外科治療や化学療法、放射線治療などと併用治療が可能です。
ハイパーサーミアによる温熱治療と併せて治療することで、
効果を増強させることが期待できます。

ハイパーサーミアによる温熱治療のしくみ

加温のしくみ

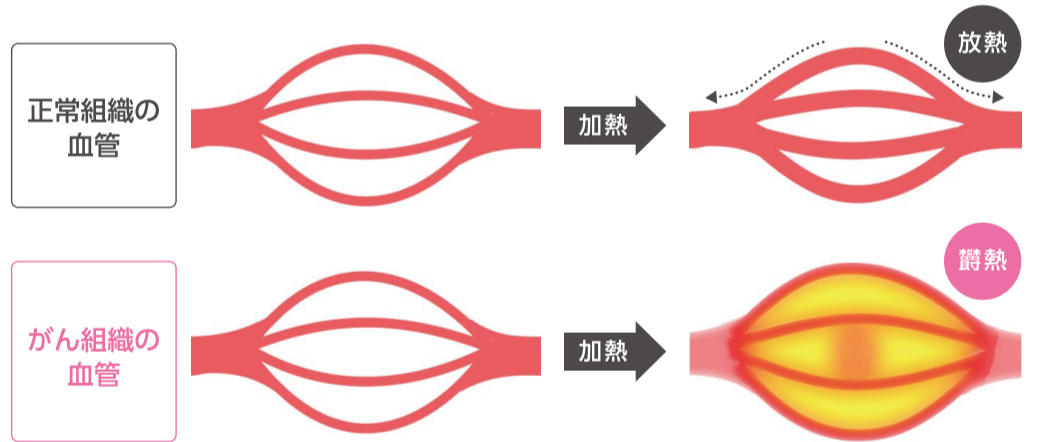
成人の身体はおよそ65%が水でできています。ハイパーサーミアの円盤電極を身体に密着させ、極性の変わる交流電流を流すと、体内にある水分子が振動します。この振動により発熱が起きて、がんの局所の温度を上昇させます。



がん細胞は熱に弱い

人間の細胞は、温度が42.5度以上になると死滅します。温熱治療で細胞を温めた時、正常な細胞の場合は、血管が拡張して血流が増加するとともに、熱を逃がすことができます。一方、がん細胞の場合は、血管の縮小が弱く血流の増加がほとんどないため、熱を逃がすことができずに加熱(鬱熱)されて死滅します。

がん細胞が丁度42.5度になるように加熱をすることで、健康な細胞にダメージを与える事なく、がん細胞のみを死滅させることが出来ます。



治療の流れ

1回の治療時間はおよそ40~60分間です。治療時間のほかに治療前後の準備や着替えなどの時間が必要となります。

治療前

- 1 上半身加温の場合、治療前1時間以内の食事は控えます。
- 2 治療中は発汗するため、タオルや着替え等を準備します。
- 3 治療前にトイレを済ませます。
- 4 加温部位の着衣を脱ぎます。
- 5 身に着けている金属物を取り外します。
- 6 治療ベッドに横になります。
- 7 電極パッドを治療部位に当てます。

治療後

- 1 電極パッドが離れるので、治療ベッドから降ります。
- 2 水分を十分に補給します。

【お問合せ】がんセンター がん治療センター

病院長代理 鶴見 寿
センター長 原 武志・副センター長 野々垣 智子

